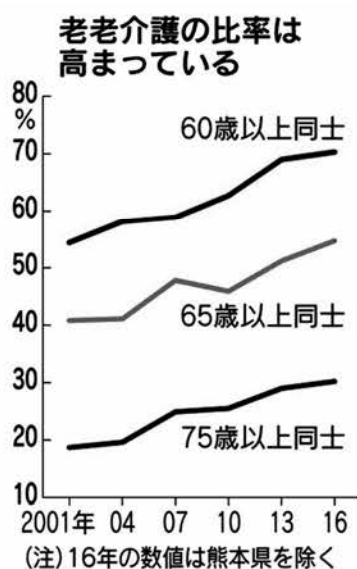


介護保険

来年度は第7期介護保険改定です 「介護の社会化」は？課題解決には？



介護の実態が明らかになり、介護保険が当初の「介護の社会化」が全く機能してないことを示す結果となりました。高すぎる介護保険料、利用料、必要な介護サービスがきちんと提

荒川区における主な介護者の年齢

	60歳代	70歳代	80歳以上	70歳以上
在宅サービス利用者(要介護)	26.0%	24.5%	19.0%	43.5%
在宅サービス利用者(要支援)	25.3%	25.3%	19.8%	45.1%
未利用者	24.6%	19.3%	22.8%	42.8%
特別養護老人ホーム希望者	35.9%	19.5%	15.9%	35.4%

※荒川区第7期高齢者プラン策定のためのアンケートより

荒川区の高齢者だけの世帯(国勢調査)

	2015年
65歳以上単身高齢者(a)	12,576
高齢者人口割合	25.07%
夫婦とも65歳以上世帯の人数(b)	15,137
高齢者のみ世帯の総人数(a)+(b)	27,713

その中に、主な介護者の年齢の数字が出ていました。ちなみに70歳以上が4割台、60歳以上に

75歳以上同士で老々介護30%(厚労省調査) 荒川区としても実態把握と対策が急がれます

厚生労働省は、2016年国民生生活基礎調査による75歳以上の高齢者が同居の75歳以上の要介護者を介護する老々介護の世帯割合が30・2%(前年比1・2割増)になったと発表。初めての3割越えです。深刻な老々介護の実態が明らかになり、介護保険が当初の「介護の社会化」が全く機能してないことを示す結果となりました。高すぎる介護保険料、利用料、必要な介護サービスがきちんと提

荒川区では70歳以上の老々介護が4割台!!!

荒川区は、来年度の介護保険7期改定に向けたアンケート調査を実施。その中に、主な介護者の年齢の数字が出ていました。ちなみに70歳以上が4割台、60歳以上に

都議選の結果から見えてくるもの 有権者数5,489人増、投票者13,756人増加



都議選中のご協力ありがとうございました。荒川選挙区は、公明党と無所属(都民ファースト推薦)の2氏が当選となりましたが、引き続き公約実現に力を尽くします。全体は、安倍首相の国政私物化など暴走政治に都民の厳しい審判が下り、自民党が過去最低の23議席に激減。共産党は17議席から19議席に躍進。都民ファーストは、追い風にのり55議席を獲得。公明党は、全国的な応援による集中的訪問活動などで23議席。

今後、豊洲市場移転と築地再整備に都民ファーストの会がどういった立場を示すのか、移転推進の公明党との関係も含めて問われてきます。19議席に前進した共産党の役割が大きく期待されます。

都議選中のご協力ありがとうございました。荒川選挙区は、公明党と無所属(都民ファースト推薦)の2氏が当選となりましたが、引き続き公約実現に力を尽くします。全体は、安倍首相の国政私物化など暴走政治に都民の厳しい審判が下り、自民党が過去最低の23議席に激減。共産党は17議席から19議席に躍進。都民ファーストは、追い風にのり55議席を獲得。公明党は、全国的な応援による集中的訪問活動などで23議席。

なる」とほぼ7割です。データのとり方が国と違うので単純な比較はできませんが、ほぼ同じ傾向です。こうした区民の置かれた実態を踏まえて来期の介護保険の計画をしっかりと立てることが必要です。みなさんのご意見をお寄せください。



裏面 国保料続報、都議選地域の結果...など

日本共産党荒川区区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

No. 662
2017年7月 9日
発行 日本共産党区議団
Tel 3802-4627
fax 3806-9246
E-mail arajcp@tcn-cat.v.ne.jp
☆町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
Tel 3895-0504
E-mail yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧ください。横山幸次で検索して下さい。

2017年 都議会議員選挙(荒川選挙区)

候補者名	所属政党	(今回) 2017年7月2日投票 当日有権者数 165,955 投票率 52.94%		(前回) 2013年6月23日投票 当日有権者数 160,466 投票率 46.17%		(前々回) 2009年7月12日投票 当日有権者数 156,771 投票率 58.20%	
		得票数	得票率%	得票数	得票率%	得票数	得票率%
相馬 けんいち (新)	共産党	17,394	20.19	鈴木けんいち (共産党) 9,799	13.43	鈴木けんいち (共産党) 9,823	10.89
さきやま知尚 (現)	自民党	18,135	21.05	さきやま知尚 (自民党) 当22,361	30.65	さきやま知尚 (自民党) 19,659	21.79
けいの信一 (新)	公明党	当24,005	27.87	鈴木貴太郎 (公明党) 当20,203	27.69	鈴木貴太郎 (公明党) 当25,057	27.78
たきぐち学 (元)	無所属 (ファースト推薦)	当21,234	24.65	(民主党) たきぐち学 11,791	16.16	(民主党) たきぐち学 当34,063	37.76
西野 アキラ (新)	幸福実現党	523	0.61	(維新の会) 町田たかし 8,801	12.06	たんじみきお (無所属) 1,594	1.76
山本 ごう (新)	無所属	2,734	3.17				
宮本 しゅんま (新)	無所属	2,109	2.45				
合計		86,134	100.00	72,954	100.00	90,196	100.00

定例法律相談会

※ 8月の定例法律相談はお休みにします。

(お急ぎの方はご連絡下さい)

生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

国民健康保険料の値上げ通知に 2100件超える問合せが…

国民健康保険料の問い合わせ件数

	窓口	電話	合計
6月19日(月)	138	292	430
6月20日(火)	167	250	417
6月21日(水)	88	196	284
6月22日(木)	127	120	247
6月23日(金)	108	71	179
6月25日(日)	5	24	29
6月26日(月)	71	100	171
6月27日(火)	67	32	99
6月28日(水)	32	25	57
6月29日(木)	41	56	97
6月30日(金)	30	62	92
合計	874	1228	2102

今年度の国民健康保険料の通知が届いた以降、区の国保課の窓口には、2100件を超える保険料の問い合わせが殺到したようです。今年度は、一人平均7252円、6.25%と過去5年で最大の値上げです。

問い合わせの中では「所得が同じなのになぜ値上げなのか？」などが多いようです。これまでも高すぎる保険料で3割近い滞納世帯が生まれ、今後は国保広域化(都が保険者に加わる)によってさらなる値上げが懸念されています。

所得が同じや少し下がっても、赤ちゃん含め世帯員一人一人に賦課される「均等割」が毎年値上げされており、負担は確実に増えていくのです。保険料の値下げ要求とともに恒常的な低所得者や多子世帯などへの減免制度を改善、拡充することが必要です。

国民健康保険料の減免制度の改善・拡充を求めます

国保料の引き下げのために、国や都に支出金の増額を求めとともに区としてできる減免制度の改善拡充を求めます。

①被災、盗難、事業不振など一時的な所得激減だけでなく「恒常的な低所得者」への減免制度を求めます。

当面生活保護基準ギリギリの世帯など一定の基準を設けて減免すべきです。

②多子世帯の減免制度を求めます。

加入者数に応じて定額が加算される国保料の「均等割」については、“子どもが多い世帯ほど負担増となるのは、子育て支援への逆行だ”という批判が高まり、国と地方の協議で「子どもの均等割の軽減措置」の検討を合意しています。すでに実施自治体もありますが、ぜひ実現させたいと思います。

都議選・町屋地域での投票行動は… 区全体の投票率より1%高い結果に

町屋地域関係の各投票場ごとの有権者数、投票数・率など前回比と比べてみました。有権者は、4年間で699人増加し27,857人(大門小は、東尾久地域も)。投票率は、区全体で前回比6.77%高くなりましたが、町屋地域では5.02%にとどまりました。一方、南千住関係では、約8%高くなり、新住民の多いマンション群の3中、汐入小、南千住第二中学など10%も高くなっています。無党派層が大きく動いたことを示しているのだと思います。投票者数は、町屋地域で1,744人増加しました。前回比で増数は投票に行っていない有権者の半分を改選して住民と政治の距離をどう近づけるか大きな課題です。

投票区	今回			前回			有権者数 増減	投票数 増減	投票率 増減
	有権者数	累計数	投票率	有権者数	累計数	投票率			
四峡小	6,412	3435	53.57	6,247	2975	47.62	165	460	5.95
五峡小	4,716	2486	52.71	4,507	2198	48.77	209	288	3.94
七峡小	6,243	3373	54.03	6,044	2997	49.59	199	376	4.44
原中	5,451	3021	55.42	5,485	2807	51.18	▲34	214	4.24
大門小	5,035	2749	54.6	4,875	2345	48.1	160	404	6.5
小計	27,857	15,064	54.08	27,158	13,322	49.06	699	1,742	5.02
区全体	165,955	87,849	52.94	160,466	74,093	46.17	5,489	13,756	6.77

※注釈 投票者数は午後7時から8時の投票者数、期日前投票数、不在者投票数の合計です。

生物・化学兵器は禁止 なぜか核兵器は「合法」

おりしも核兵器禁止条約についての国連会議がいよいよ始まっています。戦争そのものをなくすることが究極の願いです。この中で人類は生物化学兵器など残虐兵器を禁止など進めてきたことも事実です。

ところが最も残虐な人類を滅ぼすことも可能な核兵器は禁止されていません。核兵器を違法化して、「悪の烙印」を何としても押したいものです。この問題でも安倍政権は、核兵器禁止条約に反対の立場であり、被爆国日本の政府として失格です。

禁止条約がないのは核兵器だけ

- ☠ 生物兵器 → 1975年に発効
- ☠ 化学兵器 → 1997年に発効
- ☠ 核兵器 → 禁止条約なし!



尾久の原公園からスカイツリーをのぞむ



まじの話あれこれ

誰もいない東尾久運動場…ちよつと寂しいが来年8月に拡張工事完了で生まれ変わります

尾久の原公園に隣接する東尾久運動場。これまでは、少年サッカーなどの試合や練習でにぎやかな声が聞こえていました。最近通ると周辺に夏草が伸び放題、サッカーゴールもなく人の姿もなく、強い日差しにグラウンド部分が白く照り返していました。ふと思えば返す今年5月から来年の8月末まで運動場の拡張工事のために閉鎖になっていたので。さあ、どんな姿に生まれかわるか楽しみです。

来年の秋には子どもたちの元気な姿がみられることでしょう。尾久の原公園もすっかり夏模様になっています。梅雨の降雨でトンボ池もその姿をしっかりと見せてくれるでしょう。

(横山幸次)